

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成24年2月25日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670102534号
法人名	有限会社 いこいの広場
事業所名	グループホームいこいの広場
所在地	鹿児島市坂之上四丁目4番33号 (電話) 099-210-8230
自己評価作成日	平成24年2月25日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年3月9日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の皆様が、安心してゆったりと穏やかに過ごしていただける様に家庭的な雰囲気の中で、生活が出来るような環境を整えています。また日当たりも良く明るい雰囲気の中で、入居者様と職員は楽しく過ごしています。

ベランダには、小さいですが「いこいの野菜畑」があり、苗の植え付けや、収穫、雑草とりなど一緒になって楽しんでいます。野菜の収穫以外にも、外でお茶を飲んだりと周りの景色を楽しみながら。職員も一緒になって過ごしています。

それぞれの居室には手作りの表札、広間には手作りのカレンダーなど、施設ではなく本当に家の中にあるような雰囲気を持ったグループホームになっています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当グループホームは鹿児島市南部の閑静な住宅街に建てられており、今年で開設して11年目を迎える。1階がグループホーム、2階が管理者の自宅となっているため、地域と密接に関わることが可能であり、利用者や職員が大家族のように生活している。また、建物の周りはウッドデッキが設けられ、足腰の弱くなった利用者もリビングからそのまま出ることができる。ここでは日光浴や洗濯物干し、家庭菜園の手入れなどが出来ることから、ホームの中だけで過ごすことのないよう配慮されている。管理者や職員は、利用者や家族の思いや希望を大切に、可能な限り叶えられるよう利用者主体のケアに取り組んでいる。家族アンケートにも「利用者の気持ちになって話を聞いてくれ、介護してくれる」「家族の話も良く聞いてくれる」などのコメントがあり、家族との信頼関係が築かれていることが伺われる。勤続年数の長い職員も多く、職員間、利用者とのなじみの関係が築かれており、リビングでの会話の様子は終始穏やかな雰囲気である。共用空間はさほど広くはないが、利用者と職員のほど良い距離感が家庭的である。そこで新聞を読んだり、スポーツ番組を見たり、会話をしたりと利用者思いの時間を過ごしている。管理者・職員は現状に満足することなく、常に自己研鑽意欲を持ち、複数事業所連携事業を立ち上げて他の事業所と合同で定期的な勉強会や研修、情報交換などを行い更なる質の向上に向けて取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を念頭に置きながら、管理者と職員は、入居者様に接し支援している。	理念は全職員で話し合い、地域密着型サービスとしての意義を踏まえ作成している。職員が目につく台所や事務所に掲示し、パンフレットや重要事項説明書にも明記している。日常の業務の中で理念を確認する機会もあり、理念の共有と実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、夏祭りやその他の町内会の行事に参加し、地域との交流を行っている。	町内会に加入しており、管理者が総会や町内会行事の運営に協力するなどホームが孤立することのないよう努めている。利用者も十五夜や夏祭りの見物に出かけ、日常の散歩などで無理なく地域との交流を行っている。学生の実習の受け入れや保育園、幼稚園、小学生との交流もある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	町内会の会合時などに、近隣の方々と意見交換を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中での意見など、外部からの声を真摯に受け止め、サービスの向上に繋がるように活かしている。	町内会長、民生委員、地域住民代表、家族の参加を得て2ヵ月に1回開催している。家族にはできるだけ参加してもらえよう積極的に声をかけている。会議は避難訓練後に行うこともあり、参加者からの助言をもらってホームの安全対策にも活かしている。また、会議は、地域とのパイプラインになっており、交流にも活かされている。	

鹿児島県 グループホームいこいの広場

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>鹿児島市からの案内がある時以外にも、定期的に担当者との話をしたりと、協力関係を築けるように努力している。</p>	<p>生活保護受給者もおおり、日頃より連携を図り、協力関係を築くように努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>禁止の対象になっている具体的な行為を全員が理解し取り組んでいる。常日頃から、玄関は開放し自由に往来が出来る様になっている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会も設置されており、定期的に勉強会や検討会議を行っている。契約書に「当グループホームは身体拘束をしない」と明記し、玄関にも「身体拘束排除宣言」を掲げながら、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は施錠などせず安全で自由な暮らしを支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修や学習会などに参加している。また職員全体で虐待に対して常に注意を払い、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度が理解できるように学習し話し合いを持ち、いつでも活用できるようにしている。</p>		

鹿児島県 グループホームいこいの広場

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居者様、ご家族様に十分な説明を行い、理解納得を頂いた上で契約を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議などを通して入居者様や、ご家族様が意見や要望を表せる機会がある。</p>	<p>日常の面会時や電話連絡時、家族交流会時に職員や管理者が話をする機会をもち、家族から意見、要望を聞き出すようにしている。出された意見や要望については職員全員で話し合い、可能な限り叶えられるように対応している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議などで、職員の意見や提案を聞く機会を設けており、反映させている。</p>	<p>職員が自由に意見を表せるように配慮して、管理者は入らずに職員だけの会議を毎月行っている。出された意見や提案については運営に反映できるように管理者も対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>個々の能力など把握し、働き甲斐がある職場づくりや環境を整えている。また職員と管理者が気軽に話しが出来る環境を整えている。</p>		

鹿児島県 グループホームいこいの広場

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>一人一人の、力量に応じながら、研修を受けられるように取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流も兼ねて、合同の研修会を行い取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居した初期の段階は特に、安心してサービスを受けて頂く様に、本人の声をしっかりと傾聴し、安心される様に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様との十分な信頼関係を築けるように、話をしっかりと伺い取り組んでいる。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本当に必要なサービスは何かを、本人やご家族に伺いながら、対応し取り組んでいる。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>常日頃から、一緒に暮らしを共にする者として、支えあったりと毎日を過ごし信頼関係を築いている。</p>		

鹿児島県 グループホームいこいの広場

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様と一緒に、共に本人様を支えあう関係を築けるように、よく話をし取り組んでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様が、大切にしてきた関係が途切れる事が無いように定期的に連絡をしたりと努めている。	地域出身の利用者は、地域行事の見学などでなじみの場所との関係継続を支援している。また、友人知人に電話をかけたいとの要望がある利用者もおり、すぐに対応できるようにしている。訪問もしやすいように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係を把握し、孤立しないように、職員が間に入り支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつでも相談に応じたり、こちらから連絡したりと、退所後の支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様一人ひとりの思いや希望を把握し支援に努めている。訴えの困難な入居者様には、本人の立場に立ち支援している。	会話の中から思いや意向を把握し、本人本位に検討している。現在、意思疎通の困難な利用者はいないが、発語が困難な利用者については身振りや手振りでの意思確認をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や生活環境など、入所時に本人様やご家族様に話を十分に伺い、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の心身状態など、毎日の記録や申し送りまた職員会議などを通して現状に把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人を交え、それぞれの意見を反映し、現状に即した計画が作成できるように取り組んでいる。	本人や家族の思いや希望、職員の意見などを反映した本人本位の介護計画を作成している。定期的な見直しと変化があればその都度見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。趣味や特技、個々の身体状況に応じて出来ることなど支援できるよう介護計画に取り入れている。	



鹿児島県 グループホームいこいの広場

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	それぞれ個人記録があるので、それを活用している。また申し送りなど行い、情報の共有化にとりくんでいる。介護計画の見直しにも活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時の状況に応じ、臨機応変に対応し、取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事などに参加や見学をしたりと支援している。また消防訓練などに参加して頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様とご家族様に納得して頂いているかかりつけ医との信頼関係は築かれている。いつでも受診が出来るように支援している。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関とは緊急時の対応や往診などで協力関係が築かれている。	

鹿児島県 グループホームいこいの広場

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	気づいた事をすぐに連絡、相談できる様に取り組んでいる。また本人様が適切な受診が出来るように取り組んでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院された場合には、できるだけ早期に退院が出来るように、病院関係者との話し合いをもち情報交換を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人様、ご家族様と話を十分に行い、事業所として出来ることと納得して頂いた上でチームとして支援している。	重度化や終末期に向けたホームの方針を入居時に説明し、家族の希望も聞いている。入居後は身体状況に応じて、医師の指示のもと、家族と話し合っ方向性を共有し、ホームでできる最大限の支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に訓練を行い、急変時や事故に対し適切な対応が出来るように備えている。		

鹿児島県 グループホームいこいの広場

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署員立会いのもと定期的に避難訓練を行っている。地域との協力体制を整えている。</p>	<p>年2回定期的に避難訓練を行っている。運営推進会議にからませて行うこともあり、地域の方や家族の参加も得られている。近隣にも協力の声かけを行っており、自動通報システム、スプリンクラーは設置済みである。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人様の自尊心を傷つけないように、声かけや対応に気をつけている。	定期的に研修を行い、職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。排せつ誘導などの際も職員はやさしく声かけし、人格やプライバシーを損ねないよう配慮してしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様が、思いや希望を自己決定できるような声かけを行い、取り組み、またその意思は尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべく希望に沿って過ごして頂ける様に、一人ひとりのペースに合わせながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみやおしゃれが出来るように、乳液や化粧水など準備またご自分ですることが困難な方には、職員が一緒になって支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様とスタッフが一緒になって、盛り付けや配膳、食器の準備などを毎日行っている。	家庭菜園作りが好きな利用者もあり、収穫を楽しみに日々手入れをしている。また、出来ることは手伝ってもらい、時には、味噌作りや巻き寿司作りなどのアドバイスをもらうこともある。花見でお弁当を食べたり、気分を変えて外食（ソーメン流し、物産館、道の駅など）にも出かけている。	

鹿児島県 グループホームいこいの広場

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスなど、かかりつけの病院の栄養士にチェックして頂いている。また一人ひとりに応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後就寝前など、口腔ケアを行っている、また職員が一部介助を行い支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりに合わせ、なるべくトイレで排泄していただける様に支援している。また失敗しても自尊心を傷つけないように声を支援している	排せつチェック表で個々の排せつのパターンを把握して日中はトイレでの排せつを支援している。また、自立している利用者も多く、継続できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、健康体操を行い体を動かしたり、食物繊維が多い食事を提供し取り組んでいる。		

鹿児島県 グループホームいこいの広場

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の希望にあわせながら、ゆったりと入浴できるように支援している。入浴日等は特に決めずに行っている。	基本的には週3回を目安としているが、希望があれば毎日の入浴も可能で個々に応じた入浴の支援を行っている。入浴をためらう利用者には声かけやタイミングで工夫して入浴してもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して就寝できるように、声かけし、騒音や雑音が無いように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが服用している薬の副作用など理解している。また忘れてしまった時でも、一人ひとりファイルがあるので、その都度確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人様の、得意なこと、出来ることを把握し、一人ひとり役割を持って頂き支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に沿って戸外に行けるように支援している。また遠方へは、入居者様の希望を尊重し出かけている。	日常的にテラスでの日光浴や散歩、買い物同行などを通して戸外に出られるように支援している。利用者の希望がある時は個別の外出を支援し、気候がいい季節には近くの慈眼寺公園や錦江湾公園に出かけたり、花見やくだもの狩り、紅葉見学、初詣などにも出かけることで季節を感じられるように支援している。昨年は「花かごしま博覧会」にも出かけている。	

鹿児島県 グループホームいこいの広場

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の管理が出来る入居者様には小額ではあるが管理していただいている、買い物際にはそのお金を支払いに使用して頂き支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>いつでも連絡が出来るように、電話の子機を広間に備えている、ご自分でボタンが押せない方は、職員がボタンを押し支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>快適に居心地よく過ごして頂ける様に、明かりや、温度、湿度に気をつけている。また野菜畑から収穫し季節を感じて頂いている。</p>	<p>民家改造型の造りのためにさほど広い空間ではないが、家庭的で職員・利用者がほど良く触れ合える共用空間である。テーブルで新聞を読んだり、和室の居間でテレビを見たり会話をしたりと利用者が思い思いに過ごせるように配慮されている。また、リビングから直接ウッドデッキのテラスに出ることが可能なので閉塞感を感じることはない。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>広間には、フローリングと畳を組み合わせられた空間があり、皆様ゆったりと過ごして頂いている。</p>		

鹿児島県 グループホームいこいの広場

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、なるべく本人様が使用していたものを、入所される時点で持って来て頂き、居心地良く過ごして頂ける様に配慮している。</p>	<p>テレビ、ラジオ、タンス、位牌、家族の写真、飾り物などが持ち込まれ、居心地良く過ごせるように工夫している。各居室、デッキに通じており、明るく、開放感がある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下の手すりや、トイレ・浴室の案内表示など、なるべくご自分で行けるように工夫している。また声かけや付き添いながら自立できるように支援している。</p>		



**V アウトカム項目**

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームいこいの広場

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない